

消防・警察車両と共に自衛隊軽装甲機動車で募集広報活動実施



青木広報官(左)
三谷議員(中)
江澤広報官(右)



軽装甲機動車前に募集広報ブースを設置

自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所(所長 近藤1空尉)は8月5日(日)、横浜市消防局 都築消防署が主催する都築区はたらく車大集合(横浜市都築区総合庁舎駐車場で開催)のイベントにて募集広報活動を実施した。イベントでは消防や警察の車両と共に陸上自衛隊第31普通科連隊の支援を受け、軽装甲機動車の展示を行なった。見慣れない自衛隊車両に多くの人が足を止め説明を受けたり、車両や隊員と一緒に写真撮影を行ったりと大盛況であった。

募集広報ブースに足を止めた人の中には、公務員として身分が保障されること、国際貢献や災害派遣で活躍できること、多くの職種があり自分の適性に合わせた勤務が出来ること等、迷彩服に身を包んだ広報官が魅力について積極的にPRを実施した。来場者からは「色々なお仕事があることを初めて知りました」「今までのイメージと変わりました」との言葉があり、自衛隊へ良い印象を持ってもらえることができた。

また31年度より募集相談員として協力をいただけた三谷英弘衆議院議員が会場に駆けつけた。海上自衛隊の父を持つ三谷氏からは「これからも自衛隊の活動に積極的に協力させて頂きます」と温かい言葉を頂いた。

市ヶ尾募集案内所は「消防や警察と連携し、地元の方に自衛隊への理解を得られる良い機会を持つことができた。今後地域に密着した継続的な募集活動を実施し、志願者の獲得に繋げていきたい」としている。

防衛大学校入校者が近況報告に来訪



原田2曹(写真:左)と山崎学生(写真:右)

小田原地域事務所は、「今後も、入校・入隊者との繋がりを大事にする」とともに、地域と連携して募集活動に邁進していく」としている。

また、「防衛大学校、自衛隊の魅力及び入隊予定者等への激励等、自衛官募集についても自分出来る事があれば、協力させて下さい」と力強く語ってくれた。

自衛隊神奈川地方協力本部小田原地域事務所(所長 信國2陸尉)は、8月8日(水)に、今春防衛大学校に入校した山崎学生が夏季休暇を利用して事務所を訪れてくれたので近況について報告を受けた。

同学生は、総合選抜により入校した学生で担当広報官(原田2陸曹)に対し、「恵まれた学習環境で教育に専念することができ、充実した毎日を過ごしています」「教官の方々に丁寧な教えを頂き、同期と切磋琢磨し幹部自衛官としてあるべき姿に向け、基礎を一つずつ身に付けています」等と笑顔で話してく

知恵を結集～無人駅前で募集広報～



昼間の閑散とした駅前の様子



広報活動をする厚木募集案内所長



無人駅とは思えないほどの大勢の行人

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所(所長 岡山3海佐)は8月27日(月)、JR相模線の社家駅前にて募集広報を実施した。当駅は海老名市南西部相模川左岸に位置し、周辺には田園風景が広がるのどかな雰囲気だだよっている相模平野のほぼ中央にあたる無人駅である。しかし、約1000人の在校生を有する県立高校の最寄駅となっており、朝の通学時には大勢の高校生が駅を利用している。今回は駅の特性を踏まえて始業式当日の早朝に市街地広報を実施した。通行人からは「先輩が自衛隊に入ってがんばっています」という声や「自衛官の募集をしてるんだね」という声が聞こえ、多くの学生に対して自衛官募集に関して周知することができた。

厚木募集案内所は、「今後もあらゆる知恵を結集し、募集広報の方法を研究して積極的に活動していく」としている。